

御中

 日本特殊塗料株式会社
 九州工場 技術課

タフシールトップ#300 TN 工法塗装仕様書

【FRP 防水 トップコート塗り替え工法 標準仕様】

工 程	材 料 の 調 合	施 工 方 法	可 使 時 間 (23℃)	使 用 量	施 工 間 隔 (23℃)
素地調整	既存 FRP 防水のトップコートがポリエステル樹脂の場合を想定したトップコートの改修仕様です。その他のトップコートが塗布されている場合は、最寄りの営業所までご連絡ください。 ・素地の汚れ、油等は除去して下さい。 ・旧塗膜のハガレ、フクレや脆弱な部分は適切なケレン道具を用いて除去した後、再度 FRP 防水を行ってください。 ・既存 FRP 表面が割れている場合は、事前にタフシールパテなどを使用し、補修してください。 ・既存 FRP 表面は艶がなくなるまで目荒しを行ってください。 ・既存 FRP 表面が十分に乾燥していることを確認して、以下の工程へ進んでください。				
上 塗 (1 回目)	タフシールトップ#300 A 液 15kg B 液 3kg } 重量比 NT ウレタンシンナー 2~4kg	刷毛 ローラー	6 時間以内	0.15 kg/m ²	6~72 時間
上 塗 (2 回目)	タフシールトップ#300 A 液 15kg B 液 3kg } 重量比 NT ウレタンシンナー 2~4kg	刷毛 ローラー	6 時間以内	0.15 kg/m ²	歩行可能 12 時間以上 養生期間 2 日以上

注意事項

- ・専用シンナー以外は絶対に使用しないでください。
- ・各材料は有機溶剤を含有していますので、引火性・麻酔性があります。火気・換気には十分に御注意ください。
- ・施工後、2 時間以内に降雨、降雪が予想される場合は、施工を中止してください。
- ・下地の表面温度が 0℃以下、50℃以上での施工は避けてください。
- ・攪拌は必ずスクリュウ型の攪拌機を使用してください。
- ・使用器具類は使用后、直ちに専用シンナーで十分に洗浄してください。
- ・タフシールトップ#300 の B 液は湿気でゲル化します。密栓し保管してください。
- ・一度の厚塗りは、乾燥・硬化が非常に遅くなりますので避けてください。

御中

 日本特殊塗料株式会社
 九州工場 技術課

タフシールトップ#300 TN 工法 防滑塗装仕様書

【FRP 防水 トップコート塗り替え工法 標準防滑仕様】

工 程	材 料 の 調 合	施 工 方 法	可 使 時 間 (23℃)	使 用 量	施 工 間 隔 (23℃)
素地調整	既存 FRP 防水のトップコートがポリエステル樹脂の場合を想定したトップコートの改修仕様です。その他のトップコートが塗布されている場合は、最寄りの営業所までご連絡ください。 ・素地の汚れ、油等は除去して下さい。 ・旧塗膜のハガレ、フクレや脆弱な部分は適切なケレン道具を用いて除去した後、再度 FRP 防水を行ってください。 ・既存 FRP 表面が割れている場合は、事前にタフシールパテなどを使用し、補修してください。 ・既存 FRP 表面は艶がなくなるまで目荒しを行ってください。 ・既存 FRP 表面が十分に乾燥していることを確認して、以下の工程へ進んでください。				
上 塗 (1 回目)	タフシールトップ#300 A 液 15kg B 液 3kg } 重量比 NT ウレタンシンナー 2~4kg	刷毛 ローラー	6 時間以内	0.15 kg/m ²	6~72 時間
上 塗 (2 回目)	タフシールトップ#300 A 液 15kg B 液 3kg } 重量比 フィライト(骨材) 0.3~0.4kg NT ウレタンシンナー 2~4kg	刷毛 ローラー	6 時間以内	0.15 kg/m ²	歩行可能 12 時間以上 養生期間 2 日以上

注意事項

- ・専用シンナー以外は絶対に使用しないでください。
- ・各材料は有機溶剤を含有していますので、引火性・麻酔性があります。火気・換気には十分に御注意ください。
- ・施工後、2 時間以内に降雨、降雪が予想される場合は、施工を中止してください。
- ・下地の表面温度が 0℃以下、50℃以上での施工は避けてください。
- ・攪拌は必ずスクルー型の攪拌機を使用してください。
- ・使用器具類は使用后、直ちに専用シンナーで十分に洗浄してください。
- ・タフシールトップ#300 の B 液は湿気でゲル化します。密栓し保管してください。
- ・一度の厚塗りは、乾燥・硬化が非常に遅くなりますので避けてください。

御中

 日本特殊塗料株式会社
 九州工場 技術課

タフシールトップ#300 TN-R 工法塗装仕様書

【FRP 防水 遮熱トップコート塗り替え工法 標準仕様】

工 程	材 料 の 調 合	施 工 方 法	可 使 時 間 (23℃)	使 用 量	施 工 間 隔 (23℃)
素地調整	既存 FRP 防水のトップコートがポリエステル樹脂の場合を想定したトップコートの改修仕様です。その他のトップコートが塗布されている場合は、最寄りの営業所までご連絡ください。 ・素地の汚れ、油等は除去して下さい。 ・旧塗膜のハガレ、フクレや脆弱な部分は適切なケレン道具を用いて除去した後、再度 FRP 防水を行ってください。 ・既存 FRP 表面が割れている場合は、事前にタフシールパテなどを使用し、補修してください。 ・既存 FRP 表面は艶がなくなるまで目荒しを行ってください。 ・既存 FRP 表面が十分に乾燥していることを確認して、以下の工程へ進んでください。				
上 塗 (1 回目)	タフシールトップ#300 遮熱 A 液 15kg B 液 3kg } 重量比 NT ウレタンシンナー 2~4kg	刷 毛 ローラー	6 時間以内	0.15 kg/m ²	6~72 時間
上 塗 (2 回目)	タフシールトップ#300 遮熱 A 液 15kg B 液 3kg } 重量比 NT ウレタンシンナー 2~4kg	刷 毛 ローラー	6 時間以内	0.15 kg/m ²	歩 行 可 能 12 時間以上 養生期間 2 日以上

注意事項

- ・専用シンナー以外は絶対に使用しないでください。
- ・各材料は有機溶剤を含有していますので、引火性・麻酔性があります。火気・換気には十分に御注意ください。
- ・施工後、2 時間以内に降雨、降雪が予想される場合は、施工を中止してください。
- ・下地の表面温度が 0℃以下、50℃以上での施工は避けてください。
- ・攪拌は必ずスクルー型の攪拌機を使用してください。
- ・使用器具類は使用后、直ちに専用シンナーで十分に洗浄してください。
- ・タフシールトップ#300 の B 液は湿気でゲル化します。密栓し保管してください。
- ・一度の厚塗りは、乾燥・硬化が非常に遅くなりますので避けてください。

御中

 日本特殊塗料株式会社
 九州工場 技術課

タフシールトップ#300 TN-R 工法 防滑塗装仕様書

【FRP 防水 遮熱トップコート塗り替え工法 標準防滑仕様】

工 程	材 料 の 調 合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量	施工間隔 (23℃)
素地調整	既存 FRP 防水のトップコートがポリエステル樹脂の場合を想定したトップコートの改修仕様です。その他のトップコートが塗布されている場合は、最寄りの営業所までご連絡ください。 ・素地の汚れ、油等は除去して下さい。 ・旧塗膜のハガレ、フクレや脆弱な部分は適切なケレン道具を用いて除去した後、再度 FRP 防水を行ってください。 ・既存 FRP 表面が割れている場合は、事前にタフシールパテなどを使用し、補修してください。 ・既存 FRP 表面は艶がなくなるまで目荒しを行ってください。 ・既存 FRP 表面が十分に乾燥していることを確認して、以下の工程へ進んでください。				
上 塗 (1 回目)	タフシールトップ#300 遮熱 A 液 15kg B 液 3kg }重量比 NT ウレタンシンナー 2~4kg	刷毛 ローラー	6 時間以内	0.15 kg/m ²	6~72 時間
上 塗 (2 回目)	タフシールトップ#300 遮熱 A 液 15kg B 液 3kg }重量比 フィライト(骨材) 0.3~0.4kg NT ウレタンシンナー 2~4kg	刷毛 ローラー	6 時間以内	0.15 kg/m ²	歩行可能 12 時間以上 養生期間 2 日以上

注意事項

- ・専用シンナー以外は絶対に使用しないでください。
- ・各材料は有機溶剤を含有していますので、引火性・麻酔性があります。火気・換気には十分に御注意ください。
- ・施工後、2 時間以内に降雨、降雪が予想される場合は、施工を中止してください。
- ・下地の表面温度が 0℃以下、50℃以上での施工は避けてください。
- ・攪拌は必ずスクルー型の攪拌機を使用してください。
- ・使用器具類は使用后、直ちに専用シンナーで十分に洗浄してください。
- ・タフシールトップ#300 の B 液は湿気でゲル化します。密栓し保管してください。
- ・一度の厚塗りは、乾燥・硬化が非常に遅くなりますので避けてください。